

—旧富岡鉄斎邸—

きょう わ しん あん
京・和新庵

～文化と産業の交流拠点～

文化庁京都移転支援事業ならびに2022年の京都商工会議所創立140周年記念事業の一環として、最後の文人画家として知られる富岡鉄斎の旧邸宅をリノベーションし、文化と産業の交流拠点として開設しました。現在は、「新・和新庵」として、貸会場利用のほか、不定期で一般公開も実施しています。



お問い合わせ先

京都商工会議所 特別プロジェクト推進室（営業時間 平日9時～17時）

TEL:075-341-9756 E-mail:spj@kyo.or.jp

ウェブサイト:<https://kyo-washinan.jp>

最新の一般公開の情報や貸会場の概要はウェブサイトをご覧ください。



施設の見どころ

整備に当たっては、随所に整備前の古材や部材を再活用し、往時の再現に取り組むとともに、京都の伝統産業の技も取り入れている。

① 玄関

玄関扉には、整備前の引戸を利用している。また、新たに網代天井を設けたほか、長押しには木目を際立たせる砂ずり加工を施す。



② 茶室「福寿庵」

小川流煎茶の家祖 小川可進の旧宅の遺室で、炉は切られていない。整備後は流派にとらわれず、利用いただけるようにした。庭園側の入口には四枚の腰障子（ガラス障子に変更）、茶道口には太鼓襖を再現している。床の間は整備前のものを再利用し一畳分の地板が入れられた踏込床となっており、床柱は途中で切られている。室名は大徳寺の高田明浦管長猊下が揮毫したものを、指物師の岩木秀樹氏が扁額に仕上げた。



③ 画室

鉄斎が「無量寿仏堂」と名付けていた画室からは、多くの作品が生み出された。床の間は、踏込床となっているほか、落掛が二重に打たれている。地袋棚の上の円窓や床脇の八角窓、茶道口から見える稲妻型垂れ壁に文人趣味がうかがえる。欄間には、鉄斎下絵による彫刻が施されている。また、襖の引き手の一部には、当時のものを再利用しており、奥には、仏間が設けられていた。この画室は、小川流煎茶の「三清庵 小川後楽堂」（北区）にも再現されている。



④ 庭園

京都府の現代の名工でもある岡本耕藏氏の監修により、京都府造園協同組合が樹木や石材等を再利用して新たに整備した。画室から臨める石灯籠と蹲は鉄斎の長男・謙蔵の妻・とし子の回想記に「八幡の松花堂にあったものを、鉄斎が珍しく数百円を投じて骨董屋から買い、大切にしていた」と記載されるものか。



《伝統産業の活用》

ドアノブや手洗鉢、ランプシェード等に京焼・清水焼等を活用しているほか、画室では、不定期で京人形等の展示を行っている。

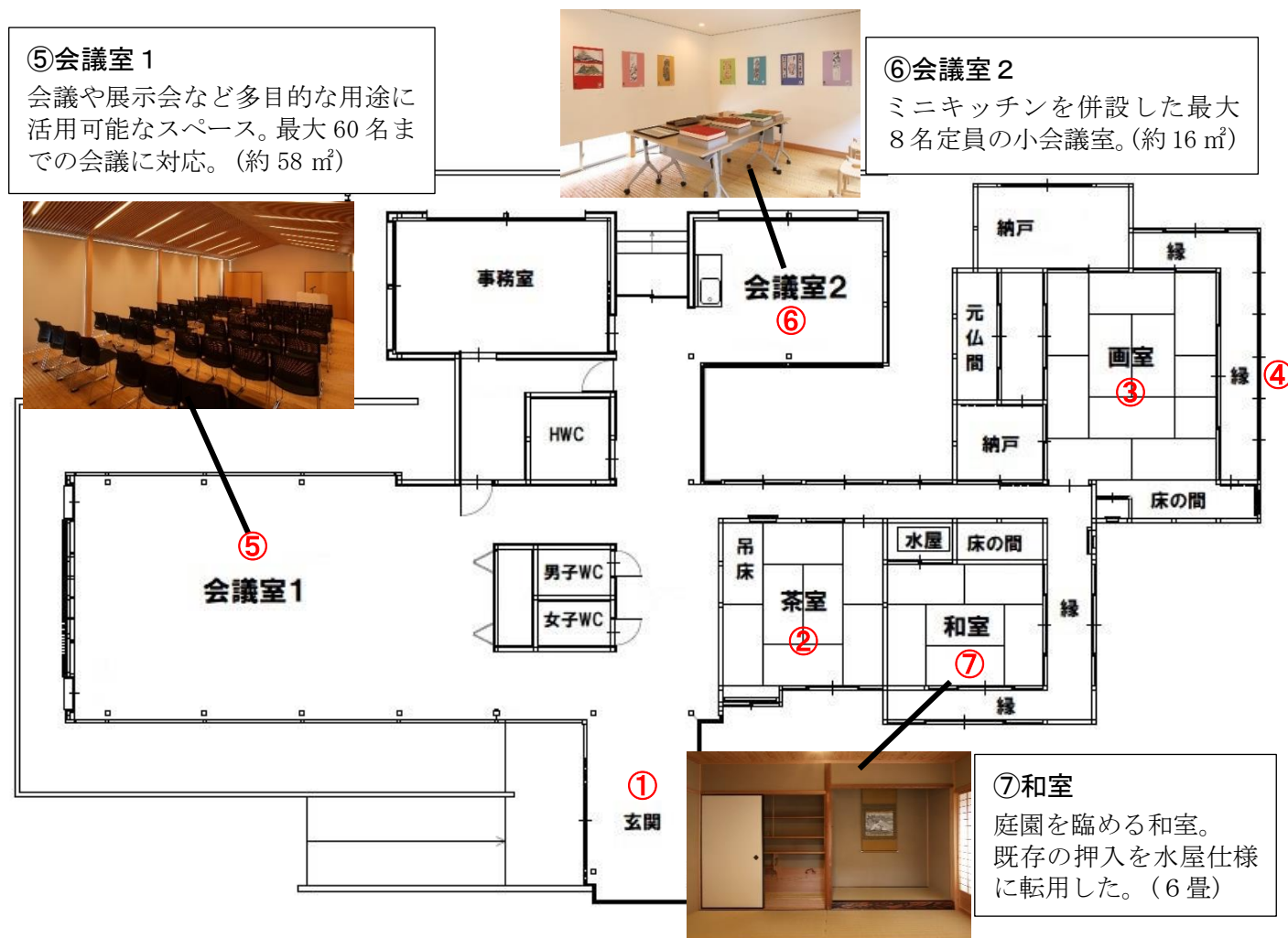


《富岡鉄斎作品のレプリカやデジタルミュージアムの展示》

和ゾーン（茶室・画室・和室）の床の間での掛け軸や、洋ゾーンでの額装作品の展示のほか、会議室2壁面のデジタルミュージアムで富岡鉄斎作品のレプリカ等をご覧いただける。

貸会場のご案内

茶道やいけばななどの生活文化教室のほか、企業の会議や懇親会会場（飲食可）として利用可能。（平日9時～17時、洋ゾーン・和ゾーンごとの利用可）※一般公開も不定期で実施中。



施設概要

所在地：〒602-0918 京都市上京区室町通薬屋町 429
※地下鉄烏丸線「今出川駅」6番出口より徒歩約7分

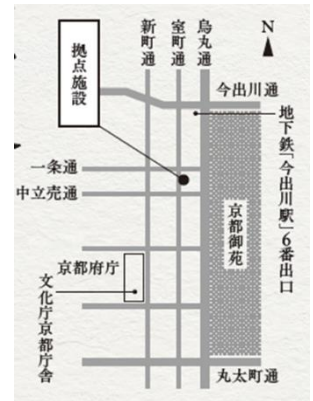
建物構造：木造・平屋建て

設計・施工監理：株式会社京都空間研究所

施工：株式会社藤木工務店 京都支店（本社：大阪市）

庭園設計・施工：京都府造園協同組合

工期：令和4（2022）年8月～令和6（2024）年1月



旧富岡鉄斎邸の変遷

- 明治14（1881）年 小川其楽より土地・建物を購入
- 明治15（1882）年 同地に入居（この頃増改築）
- 大正11（1922）年 鉄筋コンクリート造3階建ての書庫「魁星閣」落成
画室拡張、6畳座敷改造、縁を拡張し硝子戸とする
- 大正12（1923）年 主屋改築、この時に隠居所（煎茶室、6畳座敷、画室）とも接続
- 大正13（1924）年 鉄斎翁死去（89歳）
- 昭和13（1938）年 鉄斎孫・益太郎氏、土地・建物の保存登記
- 昭和22（1947）年 京都府が魁星閣と敷地南側部分を除き、土地・建物を購入
府議会議員公舎として活用
- 昭和24（1949）年 京都府が魁星閣と敷地の残りを購入
- 昭和38（1963）年 敷地東側の2階建て離屋・土蔵を解体し、議員公舎を新築
- 昭和45（1970）年 6畳座敷西の便所を解体
- 平成24（2012）年 府議会議員公舎としての役目を終える
- 平成25（2013）年 京都府委託事業 歴史的、建築的価値にかかる調査（京都工芸繊維大学）
- 平成29（2017）年～平成30（2018）年 元府議会議員公舎（旧富岡鉄斎邸）サウンディング型
市場調査（京都府府有資産活用課）

京都府議会議員公舎時代の様子 ©京都工芸繊維大学 清水研究室



室町通から臨む外観



庭園から臨む画室全景